

## 「海外年金資金等のアセットアロケーション に関する調査研究報告書」公表

公益財団法人 年金シニアプラン総合研究機構  
(<https://www.nensoken.or.jp/>)

年金に関する専門研究機関である公益財団法人 年金シニアプラン総合研究機構（東京都港区、理事長 高山憲之）は、「海外年金資金等のアセットアロケーションに関する調査研究報告書」を公表しました。

### <要旨>

本報告書では、海外大手年金等の資産運用ポートフォリオにおけるアセットアロケーションの状況等を調査しまとめている。

海外大手年金等のアセットアロケーションの資産クラス別の構成比は、極めて様々なものとなっており、投資家タイプ別の差異も拡大している。

海外大手年金資金等では、IT バブルの崩壊や世界金融危機等を経て、ポートフォリオのダウンサイド・リスクの緩和がポートフォリオ運営上の主要テーマとなり、分散投資の推進やリスクファクターの考慮、プライベート資産やオルタナティブ資産への投資拡大等、様々なリスク軽減への試みがなされている。

株式等リスク資産の組入を引き下げ債券等の組入を増やす動きもみられているが、ポートフォリオの期待リターン水準は低下することから、債券部分にレバレッジを掛けて期待リターンの水準を引き上げることも一部では行われている。また、英国債利回りの急上昇による資金繰りの問題が話題となった英国年金のレバレッジ LDI 投資の状況も併せて調査している。

※報告書は当機構 HP(<https://www.nensoken.or.jp/publication/research/>)より無料で閲覧  
頂けます。

【お問い合わせ】 〒108-0074 東京都港区高輪1丁目3番13号 NBF 高輪ビル4階  
公益財団法人 年金シニアプラン総合研究機構  
(担当) 研究部 主任研究員 樺山和也  
(電話) 03-5793-9412 (E-Mail) [k-kabayama@nensoken.or.jp](mailto:k-kabayama@nensoken.or.jp)

## 《目次》

### 第1章 海外年金資金等のアセットアロケーション

- 1 概要
- 2 投資家タイプ別のアセットアロケーション
- 3 アセットアロケーション手法
- 4 内部運用と委託運用
- 5 ドローダウンの抑制
- 6 インフレ対応資産

### 第2章 年金資産運用とレバレッジ

- 1 概要
- 2 カナダ大手年金とレバレッジ
- 3 英国国債市場（ギルト）危機と LDI 投資

### 第3章 年金資金等のオルタナティブ投資

- 1 概要
- 2 プライベート・エクイティ
- 3 不動産
- 4 インフラストラクチャー
- 5 プライベート・デット
- 6 絶対リターン／ヘッジファンド

以 上